

JOBURG EXPRESS

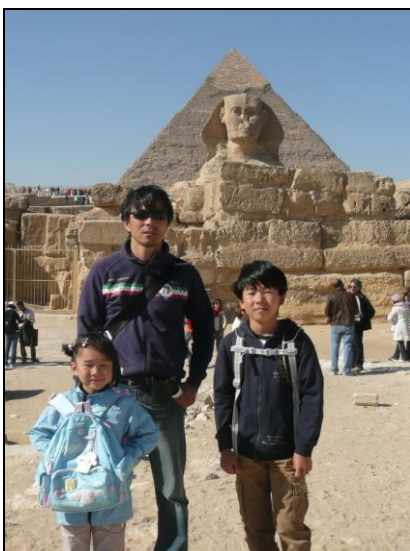
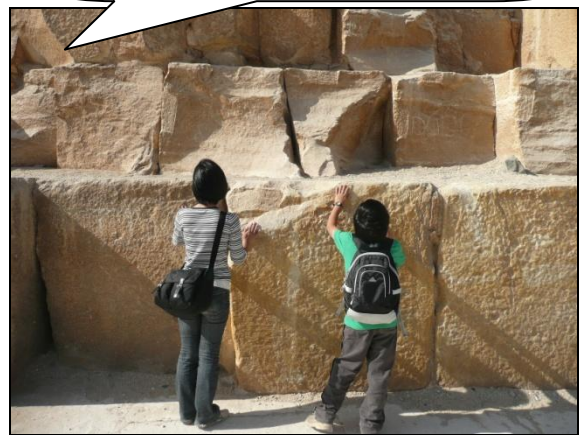
3月 発行 No.12

ヨハネスブルグ日本人学校 中島緑郎

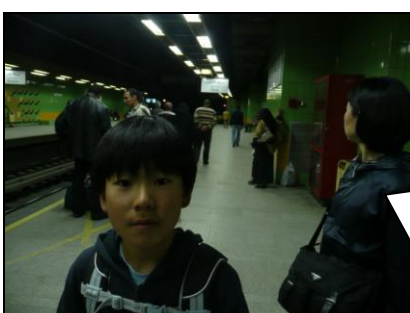
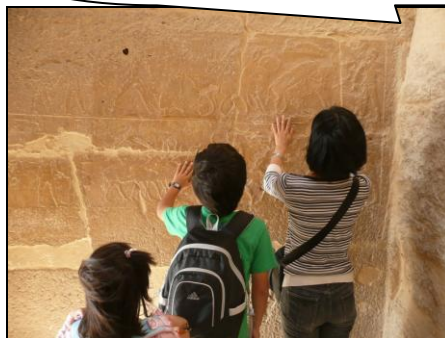
夏休みは北半球へ。エジプトを訪ねました。その2



カイロから 12km、ギザのピラミッド地区へ。最大のクフ王のピラミッドは、こんなに巨大な石を積んでできています。



ピラミッドもさることながら、周囲に残る神殿の遺跡には今でもヒエログリフ(エジプトの古代文字)がクッキリ。ピラミッドの形といい、神殿の装飾といい、古代エジプトのデザインはシンプルな上に統制感があって非常に素晴らしい。プロデュースした人がいるはずで、そのセンスには敬服します。



右は現代のカイロの地下鉄。イスラム教の国らしく、女性専用車両があります。

大ピラミッドの隣、王妃のピラミッドの地下。内部は砂漠とは思えない多湿さ。

ピラミッドエリアの警官はラクダに乗っています。





スフィンクスの足元は意外にも表面の化粧石がしっかりと残っている。こういうのは実際に行かないとわかりません。

左は遠足に来ていた地元の中学生。なぜか私たちに興味を持ち、娘の光の写真を撮りまくってました。明るくて元気な子たちでした。

ギザから少し離れたサッカラという町にある通称・階段ピラミッド。本当はさらに遠くのダハシュールにある屈折ピラミッドも見に行きたかったけど、手持ちの現金が心もたなくなつて断念。これだけは悔いが残ってます。



タクシーをチャーターしてカイロから 300km。地中海の町、アレクサンドリアも訪ねたかった場所でした。ローマ帝国の文化を色濃く残しています。エジプト人ってイタリア人に近いな、と感じます。



元祖・世界の七不思議、ファロス島の大灯台があった場所です



To Be Continued !

